

## ■ 概況

7/18~7/24のNYMEX・WTIは、55.30~56.77ドルの範囲で推移した。

7月25日は、前日反落の反動と30日から米中貿易協議の再開発表への期待から、小反発した。9月限終値は前日比0.14ドル高の56.02ドル。

週末26日は、前日のイランによる中距離弾道ミサイル発射実験の報道によるイランをめぐる緊張の高まりから、小幅に続伸した。9月限終値は前日比0.18ドル高の56.20ドル。また、ペーカーヒューズ社の米国稼働石油掘削装置数は776基で前週比3基減4週連続の減少。

週明け29日は、英国がホルムズ海峡を航行する英国船舶護衛の目的で新たに駆逐艦が現地に到着したと発表、引き続きイランをめぐる緊張の高まりから、3営業日続伸した。9月限終値は前週末比0.67ドル高の56.87ドル。

30日は、米連邦準備制度理事会（FRB）が公開市場委員会（FOMC）の初日の検討を開始、利下げ期待感から、買いが進み4営業日続伸した。翌日に予定される米国在庫報告の7週連続の取り崩し予想もこれを後押しした。9月限最終値は前日比1.18ドル高の58.05ドル。

31日は、米国エネルギー情報局（EIA）の在庫週報で、原油が前週比850万バレル減と市場予想を大きく上回る7週連続の取り崩し、ガソリンも同180万バレル減と市場予想を上回る取り崩しであったことを好感した買いが入り、5営業日続伸した。9月限の終値は前日比0.53ドル高の58.58ドル。

アジアの指標原油である中東産バイ原油/東京市場（9月渡し）は7月18日~24日の間61.50~62.80ドルの範囲で推移した。7月25日62.50ドル、26日63.00ドル、29日62.40ドル、30日63.40ドル、31日64.50ドルで推移した。

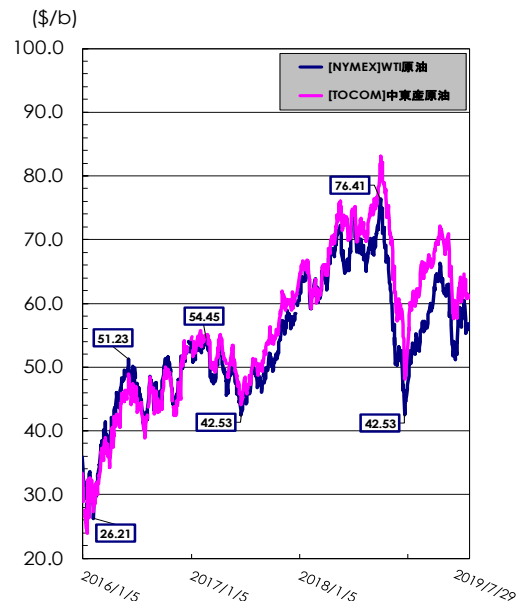
為替は7月18日~24日の間107.55~108.21円の範囲で推移した。7月25日108.22円、26日108.74円、29日108.45円、30日108.89円、31日108.64で推移した。

財務省が7月30日に発表した貿易統計（速報・旬間）によると、7月上旬の原油輸入平均CIF価格は、47,273円/klで、前旬比2,291円安、ドル建てでは69.70ドルで前旬比3.01ドル安。為替レートは1ドル/107.83円だった。

そのような中で、7月29日時点の小売価格は、ガソリンが前週比0.1円の値下がり、軽油は同横ばい、灯油は同2円の値下がり（18%ベース）だった。ガソリンと灯油は、2週ぶりの値下がり、軽油は2週ぶりに値上がり止まった。

この週（7月第5週）の原油コストはわずかに値上がりし、次週の元売の卸価格はガソリン・軽油・灯油ともに、全社据え置きと0.5円の値上げに分かれた。

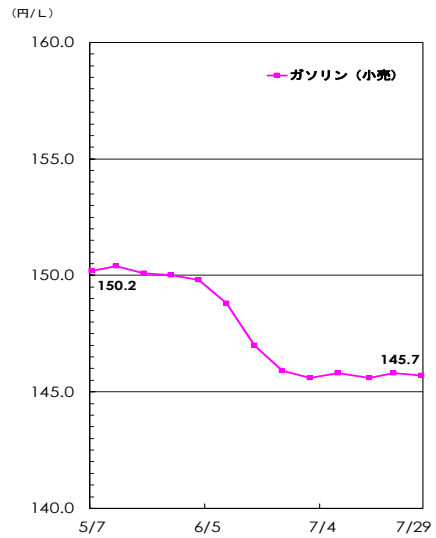
| 原油 |                        | 今週          | 前週比             | 前年比      |
|----|------------------------|-------------|-----------------|----------|
| 需給 | 原油処理量 (千kl)            | 7/21 ~ 7/27 | 3,420 ▲ 47      | ▼ -      |
|    | トッパー稼働率 (%)            | "           | 87.3 ▲ 1.2      | ▼ -      |
|    | 原油在庫量 (千kl)            | 7/27        | 13,792 ▲ 895    | ▲ -      |
| 価格 | 中東産原油 (TOCOM) (\$/bbl) | 7/29        | 60.85 ▼ -0.61   | ▼ -11.9  |
|    | WTI原油 (NYMEX) (\$/bbl) | 7/29        | 56.87 ▲ 0.65    | ▼ -13.3  |
|    | 原油CIF単価 (\$/bbl)       | 7月上旬        | 69.70 ▼ -3.01   | ▼ -6.98  |
|    | ①原油CIF単価 (¥/kl)        | "           | 47,273 ▼ -2,291 | ▼ -6,145 |
|    | ②ドル換算レート (¥/\$)        | "           | 107.83 ▲ 0.53   | ▲ 2.92   |
|    | 外国為替TTSレート (¥/\$)      | 7/29        | 109.45 ▼ -0.47  | ▲ 2.66   |



(単位：千kl、円/%)

| ガソリン |                            | 今週          | 前週比          | 前年比         |        |
|------|----------------------------|-------------|--------------|-------------|--------|
| 需給   | 生産                         | 7/21 ~ 7/27 | 936 ▲ 55     | ▼ -         |        |
|      | 輸入                         | "           | n.a.         | n.a.        |        |
|      | 出荷                         | "           | 866 ▼ -19    | ▼ -         |        |
|      | 輸出                         | "           | 10 ▼ -15     | ▼ -         |        |
|      | 在庫                         | 7/27        | 1,561 ▲ 60   | ▲ -         |        |
| 価格   | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 7/23 ~ 7/29 | 58.7 ▼ -1.1  | ▼ -8.3      |        |
|      | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 7/23 ~ 7/29  | 55.6 ▼ -0.1 | ▼ -9.1 |
|      |                            | (TOCOM/中部)  | 7/29         | 56.5 ▼ -0.2 | ▼ -6.5 |
|      | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 7/29        | 145.7 ▼ -0.1 | ▼ -6.4      |        |

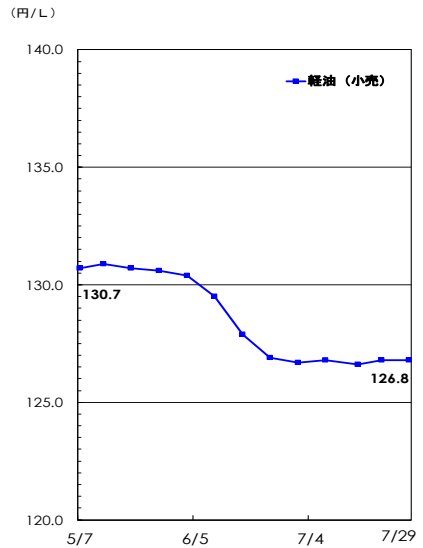
※業転、先物価格は税抜き価格



(単位：千kl、円/%)

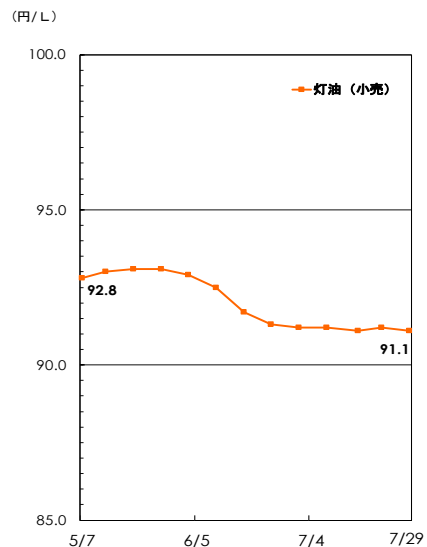
| 軽油 |                            | 今週          | 前週比         | 前年比         |        |
|----|----------------------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 需給 | 生産                         | 7/21 ~ 7/27 | 899 ▼ -17   | ▲ -         |        |
|    | 輸入                         | "           | n.a.        | n.a.        |        |
|    | 出荷                         | "           | 648 ▲ 60    | ▼ -         |        |
|    | 輸出                         | "           | 248 ▲ 60    | ▲ -         |        |
|    | 在庫                         | 7/27        | 1,488 ▲ 4   | ▲ -         |        |
| 価格 | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 7/23 ~ 7/29 | 61.7 ▼ -0.9 | ▼ -6.6      |        |
|    | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 7/23 ~ 7/29 | 62.5 ▼ -0.7 | ▼ -6.5 |
|    |                            | (TOCOM/中部)  | 7/29        | -           | -      |
|    | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 7/29        | 126.8 ➡ 0.0 | ▼ -3.9      |        |

※業転、先物価格は税抜き価格



(単位：千kl、円/%)

| 灯油 |                            | 今週          | 前週比         | 前年比        |        |
|----|----------------------------|-------------|-------------|------------|--------|
| 需給 | 生産                         | 7/21 ~ 7/27 | 241 ▲ 88    | ▲ -        |        |
|    | 輸入                         | "           | n.a.        | n.a.       |        |
|    | 出荷                         | "           | 65 ▼ -39    | ▲ -        |        |
|    | 輸出                         | "           | 0 ➡ 0       | ▼ -        |        |
|    | 在庫                         | 7/27        | 1,811 ▲ 176 | ▲ -        |        |
| 価格 | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 7/23 ~ 7/29 | 60.0 ▼ -1.5 | ▼ -7.5     |        |
|    | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 7/23 ~ 7/29 | 58.5 ▲ 0.3 | ▼ -8.8 |
|    |                            | (TOCOM/中部)  | 7/29        | 60.5 ▲ 1.2 | ▼ -8.5 |
|    | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 7/29        | 91.1 ▼ -0.1 | ▼ -1.8     |        |



■ 関連情報

1 海外/原油

7月31日のNYMEX市場WTI原油は、米国エネルギー情報局(EIA)の在庫週報で、原油が前週比850万バレル減と市場予想(260万バレル減)を大きく上回る7週連続の取り崩し、ドライブシーズン入りしたガソリンも同180万バレル減と市場予想を上回る取り崩しであったことを好感した買いが入り、5営業日続伸した。ただ、通常取引終了後の時間外取引では、米連邦準備制度理事会が0.25%の利下げを発表したものの、想定範囲内であり、パウエル議長が追加利下げに慎重な発言をしたことから、下げに転ずる場面もあった。9月限の終値は前日比0.53ドル高の58.58ドル、10月限

の終値は前日比0.52ドル高の58.63ドル。

EIAによると、7月29日時点のガソリンの小売価格は、前週比3.5セント値下がり1ガロン2.715ドル(78.31円/ℓ)、ディーゼルは同1.0セント値下がり3.034ドル(87.5円/ℓ)となった。ガソリンは2週連続の値下がり、ディーゼルは3週連続の値下がりだった。

2 国内/製品需給 (1) 出荷

石連週報によれば、2019年7月21日～7月27日に休止したトッパー能力は14.5万バレル/日で、前週に対して3.9万バレル/日減少した(全処理能力は351.9万バレル/日)。原油処理量は342.0万klと、前週に比べ4.7万kl増加。前年に対しては5.9万klの減少。トッパー稼働率は87.3%と前週に対して1.2ポイントの増加、前年に対しては1.5ポイントの減少となった。

生産は前週に比べて軽油が減産となり、その他の油種で増産となった。ガソリン/6.3%増、ジェット/3.8%増、灯油/57.3%増、軽油/1.8%減、A重油/9.9%増、C重油/7.5%増。今週のC重油の輸入は0.0万kl(前週比0.0万kl減)。軽油の輸出は24.8万kl(前週比6.0万kl増)。

出荷(輸入分を除く)は、前週比ではジェット、軽油が増加となり、その他の油種で減少となった。前年比では灯油が増加となり、その他の油種で減少となった。ガソリンの出荷は86.6万kl(対前週2.2%減)と2週振りで減少となり、30週連続で100万klを下回った。ジェット11.7万kl(対前週39.4%増)、灯油6.5万kl(対前週37.7%減)、軽油64.8万kl(対前週10.2%増)、A重油16.8万kl(対前週8.2%減)、C重油14.7万kl(対前週13.9%減)。

(単位:千KL)

|        | 今週<br>(7/21 ~ 7/27) | 前週<br>(7/14 ~ 7/20) | 前週比          |
|--------|---------------------|---------------------|--------------|
| ガソリン   | 866                 | 885                 | ▼ -19 (-2%)  |
| ジェット燃料 | 117                 | 84                  | ▲ 33 (39%)   |
| 灯油     | 65                  | 104                 | ▼ -39 (-38%) |
| 軽油     | 648                 | 588                 | ▲ 60 (10%)   |
| A重油    | 168                 | 183                 | ▼ -15 (-8%)  |
| C重油    | 147                 | 171                 | ▼ -24 (-14%) |
| 合計     | 2,011               | 2,015               | ▼ -4 (-0%)   |

※今週出荷量 = (前週末在庫 + 今週生産 + 今週輸入) - (今週輸出 + 今週末在庫)

2 国内/製品需給 (2) 在庫

7月27日時点の在庫は、全ての油種で積み増しとなった。前年に対しては、ジェット、A重油で取り崩しとなり、その他の油種で積み増しとなった。

ガソリンは156.1万kl、前週差6.0万kl増。前年に対しては7.9万kl多い。

灯油は181.1万kl、前週差17.6万kl増。前年に対しては10.7万kl多い。

軽油は148.8万kl、前週差0.4万kl増。前年に対しては4.0万kl多い。

A重油は70.5万kl、前週差0.4万kl増。前年に対しては3.7万kl少ない。

C重油は196.7万kl、前週差0.6万kl増。前年に対しては7.7万kl多い。

(単位:千KL)

|        | 今週<br>(7/27) | 前週<br>(7/20) | 前週比          |
|--------|--------------|--------------|--------------|
| ガソリン   | 1,561        | 1,501        | ▲ 60 (4%)    |
| ジェット燃料 | 947          | 931          | ▲ 16 (2%)    |
| 灯油     | 1,811        | 1,635        | ▲ 176 (11%)  |
| 軽油     | 1,488        | 1,484        | ▲ 4 (0%)     |
| A重油    | 705          | 701          | ▲ 4 (1%)     |
| C重油    | 1,967        | 1,961        | ▲ 6 (0%)     |
| 合計     | 8,479        | 8,213        | ▲ 266 (3.2%) |

### 3 国内/製品卸売価格 (1) 元売会社 仕切価格改定動向

7月23日～29日の原油価格は、前週比でわずかに値下がりがりしたが、為替レートの円安がこれを上回り、原油コストはわずかに値上がりしたものと見られる。

陸上スポット価格は、7月23日～29日の間、ガソリン112～113円台で値下がり、軽油61～62円台で値下がり後ほぼ横ばい、灯油59～60円台で値下がり後ほぼ横ばいで推移した。

海上スポット価格は、同期間で、ガソリン114～115円台で値下がり、軽油63～64円台で大きく値下がり後やや値上

がり、灯油55～57円台で大きく値上がりして推移した。

先物価格は、同期間で、ガソリン109円台で出入り後わずかに値下がり、軽油61～63円台で大きく値下がり後やや値上がり、灯油58円台で値下がりして推移した。

次週の元売卸価格は、ガソリン・灯油・軽油ともに、据え置きと0.5円の値上げに分かれた。

### 3 国内/製品卸売価格 (2) 業転価格・先物価格動向

7月23日～29日の製品スポット市況は、7月16日～22日平均と比べ、灯油の海上と先物を除き、他の油種・取引で値下がりがりした。

直近の陸上スポット価格(7/23～7/29千葉、川崎、中京、阪神の4地区の陸上ラック価格平均値)は、前週比で、ガソリンは1.1円の値下がり、灯油は1.5円の値下がり、軽油は0.9円の値下がりだった。

東京湾渡しの海上スポット平均価格は、前週比で、ガソリンは1.0円の値下がり、灯油は0.6円の値上がり、軽油は0.6円の値下がりだった。

先物価格は、前週比で、ガソリンが0.1円の値下がり、灯油は0.3円の値上がり、軽油は0.7円の値下がりだった。

8月第1週の大手元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに、据え置きと0.5円の値上げに分かれた。なお、元売会社は、2010年から卸価格の改定に際して、原油や製品相場、他社仕切りなどの動向を総合的に判断する方式としたが、2014年6月から、原油調達コストをより重視する方式に変更した。

(RIM) (単位: 円/%)

| [陸上ローリー4地区平均] | 今週 (7/23～7/29) | 前週 (7/16～7/22) | 前週比    |
|---------------|----------------|----------------|--------|
| レギュラー         | 58.7           | 59.8           | ▼ -1.1 |
| 灯油            | 60.0           | 61.5           | ▼ -1.5 |
| 軽油            | 61.7           | 62.6           | ▼ -0.9 |

(TOCOM) (単位: 円/%)

| [期近物/終値] [平均] | 今週 (7/23～7/29) | 前週 (7/16～7/22) | 前週比    |
|---------------|----------------|----------------|--------|
| レギュラー         | 55.6           | 55.7           | ▼ -0.1 |
| 灯油            | 58.5           | 58.2           | ▲ 0.3  |
| 軽油            | 62.5           | 63.2           | ▼ -0.7 |

※上記価格は税抜き価格

参考値 (7/23～7/29実績値) (単位: 円/%)

| 油種   | 現物     | 先物     | 平均     |
|------|--------|--------|--------|
| ガソリン | ▼ -1.1 | ▼ -0.1 | ▼ -0.6 |
| 灯油   | ▼ -1.5 | ▲ 0.3  | ▼ -0.6 |
| 軽油   | ▼ -0.9 | ▼ -0.7 | ▼ -0.8 |
| A重油  | ▼ -0.8 |        |        |

(出所) 現物: RIM社陸上ローリー4地区平均価格

(千葉・川崎・中京・阪神)

先物: TOCOM京浜地区海上バージ渡し平均価格

### 4 国内/製品小売価格

7月29日時点のSS店頭価格は、ガソリンが前週比0.1円安の145.7円、軽油は同横ばいの126.8円、灯油は18%ベースで同2円安の1,639円(1%ベースでは同0.1円安の91.1円)だった。ガソリン・灯油は2週ぶりの値下がり、軽油は2週ぶりに値上がりが止まった。都道府県別には、値上がりが17道府県、横ばいが7県、値下がりが23道府県だった。全国最安値は埼玉県の140.1円(同0.2円高)、その次は宮城県の140.9円(前週比1.2円高)、最高値は長崎県の157.4円(同0.1円安)であった。最も値上がりしたのは1.2円高の宮城県(140.9円)、最も値下がりしたのは1.9円安の滋賀県(141.7円)だった。

先週の原油コストは値下がりし、今週適用の大手元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに、全社1.5円の値下げとなった。

今週は、原油価格はわずかに値下がりがりしたが、為替レートの円安がこれを上回り、原油コストはわずかに値上がりした。次週適用の元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに、据え置きと0.5円の値上げに分かれた。次週(8月5日)のガソリン・灯油の小売価格は、前週の値下げの転嫁遅れから、小幅な値下がりが予想される。

(単位: 円/%)

| (資工庁公表) [週動向] | 今週 (7/29) | 前週 (7/22) | 前週比    | 直近高値          |
|---------------|-----------|-----------|--------|---------------|
| レギュラー         | 145.7     | 145.8     | ▼ -0.1 | 08/8/4 185.1  |
| 灯油            | 91.1      | 91.2      | ▼ -0.1 | 08/8/11 132.1 |
| 軽油            | 126.8     | 126.8     | → 0.0  | 08/8/4 167.4  |

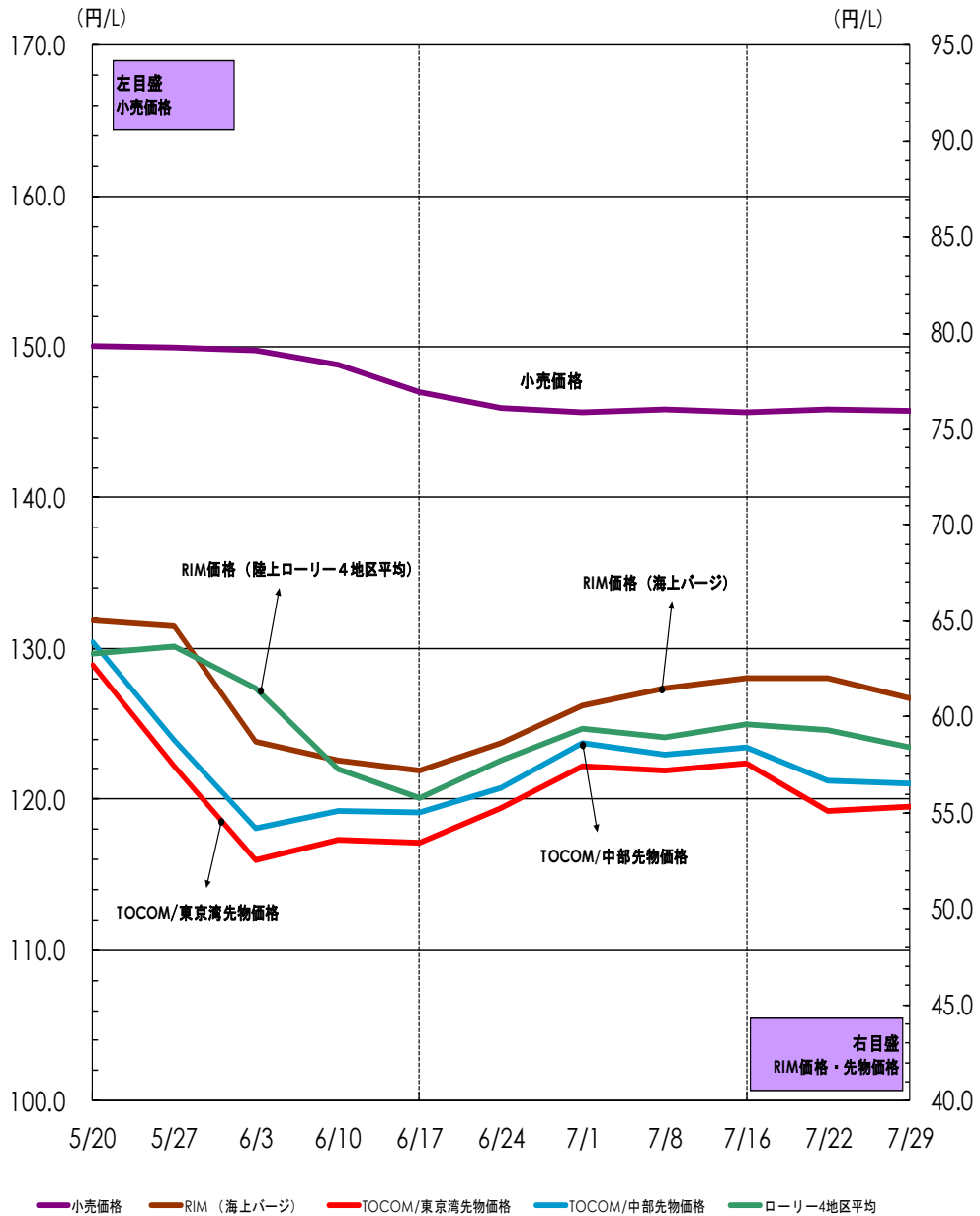
※ 現金一般価格の全国平均値 (消費税込み)

07年4月以降 2,000店舗を対象。

直近高値とは2003年10月以降の最高値。

# ガソリン価格推移

(2019/5/20 ~ 2019/7/29)



(注)①「小売価格」は消費税込みの価格 RIM価格・TOCOM先物価格は税抜き価格  
 ②RIM価格(陸上ローリー)は4地区平均価格

## ■ お知らせ

本レポートは当センターのホームページ (<https://oil-info.ieej.or.jp>) にも掲載しています。  
次回(2019第18号)の公表は、8/9(金)14:00です。

「セルフSS出店状況」(平成31年3月末現在)は、7月31日(水)14:00に公表しました。当センターのホームページをご覧ください。

### 本レポートのご利用について

本レポートについて、テキスト、グラフィックス及びその他の情報(以下、併せて「ドキュメント」)に関わるすべての知的所有権は、一般財団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センター(以下、当センター)又は当センターヘドキュメントを提供している第三者へ独占的に帰属します。

当センターの事前の書面による承諾を得ることなく、ドキュメントを転用、複製、改変等の一切を固く禁じています。

また、ドキュメント内容に関しては万全を期していますが、その内容の正確性および安全性を保証するものではありません。

### 「ウィークリー オイル マーケット レビュー」とは

平成16年5月に経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石油流通課 主催の「石油製品市場動向研究会」が取りまとめた中間報告で、「わが国石油産業における市場機能、価格発見機能が更に強固なものとなることが望まれるとともに、中期的な課題として、石油産業において確立していく市場機能、価格発見機能に基づく合理的な価格認識及びそれを踏まえた自己責任の下での経営判断の必要性について、石油産業関係者の認識が更に深まることにより、わが国の基幹産業である石油産業全体としての合理性、活力が一層高まることを期待したい。」と提案されています。

当センターでは、これを受けて石油連盟、全国石油商業組合連合会をはじめ関係機関等の協力を得て、石油関係者、企業の経営者層(特に給油所経営に携わる方々)から一般消費者の方々に対し、原油・石油製品需給や価格動向を的確に理解するツールの一つとして、「ウィークリーオイルマーケットレビュー」を平成17年5月より定期的に発信しています。

### 本レポート掲載データの出所について

#### ①【原油・石油製品需給】〈石連週報〉

石油連盟(石連)「原油・石油製品供給統計」週報データを千KL単位に換算して採用。

「出荷」は当センターの推計。

#### ②【原油・先物価格】〈WTI原油、中東産原油〉

WTI原油は、ニューヨーク商業取引所(New York Mercantile Exchange : NYMEX) WTI原油先物の期近物・終値を採用。

中東産原油は、東京商品取引所(The Tokyo Commodity Exchange : TOCOM) 中東産原油の期近物・終値を採用。 ※「二番限(翌月限)」

中東産原油は、ドバイ原油及びオマーン原油の平均価格を指標としている。為替換算レートとして、三菱東京UFJ銀行発表TTM (Telegraphic Transfer Middle rate : 中値) を採用。

原油CIF単価は、財務省貿易統計「原油・粗油平均CIF単価」(旬間値)を基に、石油連盟が試算したドル表示の参考値を採用。

#### ③【国内製品・元売仕切価格】

元売仕切価格は、元売会社(一次卸)と系列特約店など(二次卸)との間で売買される卸価格。

元売会社は、平成22年4月以降、現行の新価格体系を見直し、原油や製品相場、他社仕切りなどの動向を総合的に判断し、具体的方針を決める方式に変更。さらに平成26年6月以降、原油コストをより重視する方式に変更している。

#### ④【国内製品・業転価格】〈RIM業転〉

国内陸上ローリー価格は、リム情報開発株式会社(RIM)「LORRY RACK・レポート」の千葉、川崎、中京、阪神の4地区の平均値を採用(いわゆる4RIM価格とは異なる)。

#### ⑤【国内製品・先物価格】〈TOCOM〉

TOCOM 東京湾及び中部石油製品期近物・終値を採用。

TOCOM東京湾は京浜地区海上バージ渡し価格(平均値)、TOCOM中部は中部地区陸上ローリー渡し価格(平均値)。

#### ⑥【国内製品・小売価格】〈週動向調査〉

約2,000 SSを対象に週次ベースのSS店頭における店頭現金価格の全国平均値を採用(資工庁公表)。原則として、毎週(月)時点の価格を調査し(水)14:00に公表(資源エネルギー庁HPに掲載)。